

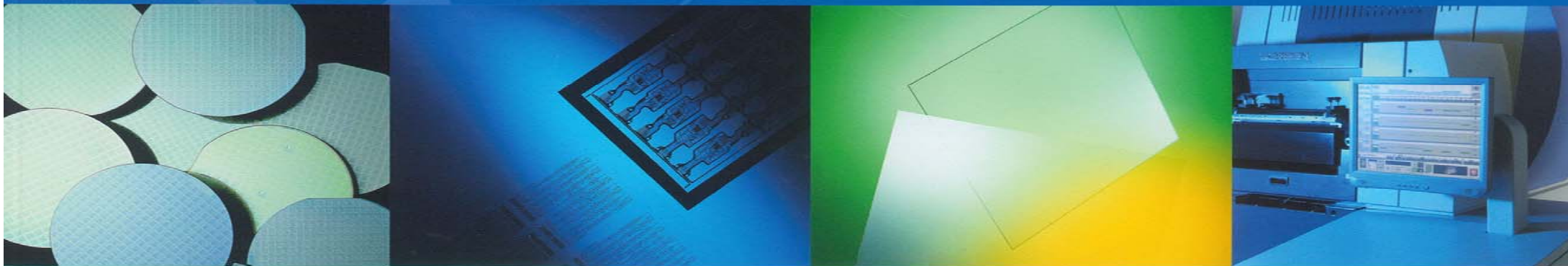
SCREEN

大日本スクリーン製造株式会社 2008年3月期中間決算説明会

2007年11月13日

資料の取り扱い上の注意

本資料および口頭にて提供する将来の当社業績見通しは、直近で知り得る情報をもとに作成したものであります。しかしながら、世界経済やエレクトロニクス業界の技術変化、半導体・FPDパネルの市況など、当社を取り巻く事業環境は急速に変化いたします。つきましては、今後当社の業績見通しが本資料と異なる可能性もございますので、ご了解願います。なお、本資料に記載しております数字につきましては、単位未満切捨てで処理しております。比率は百万円単位で計算した結果を四捨五入して処理しております。



2008年3月期中間決算説明会

2007年11月13日

代表取締役社長
最高執行責任者

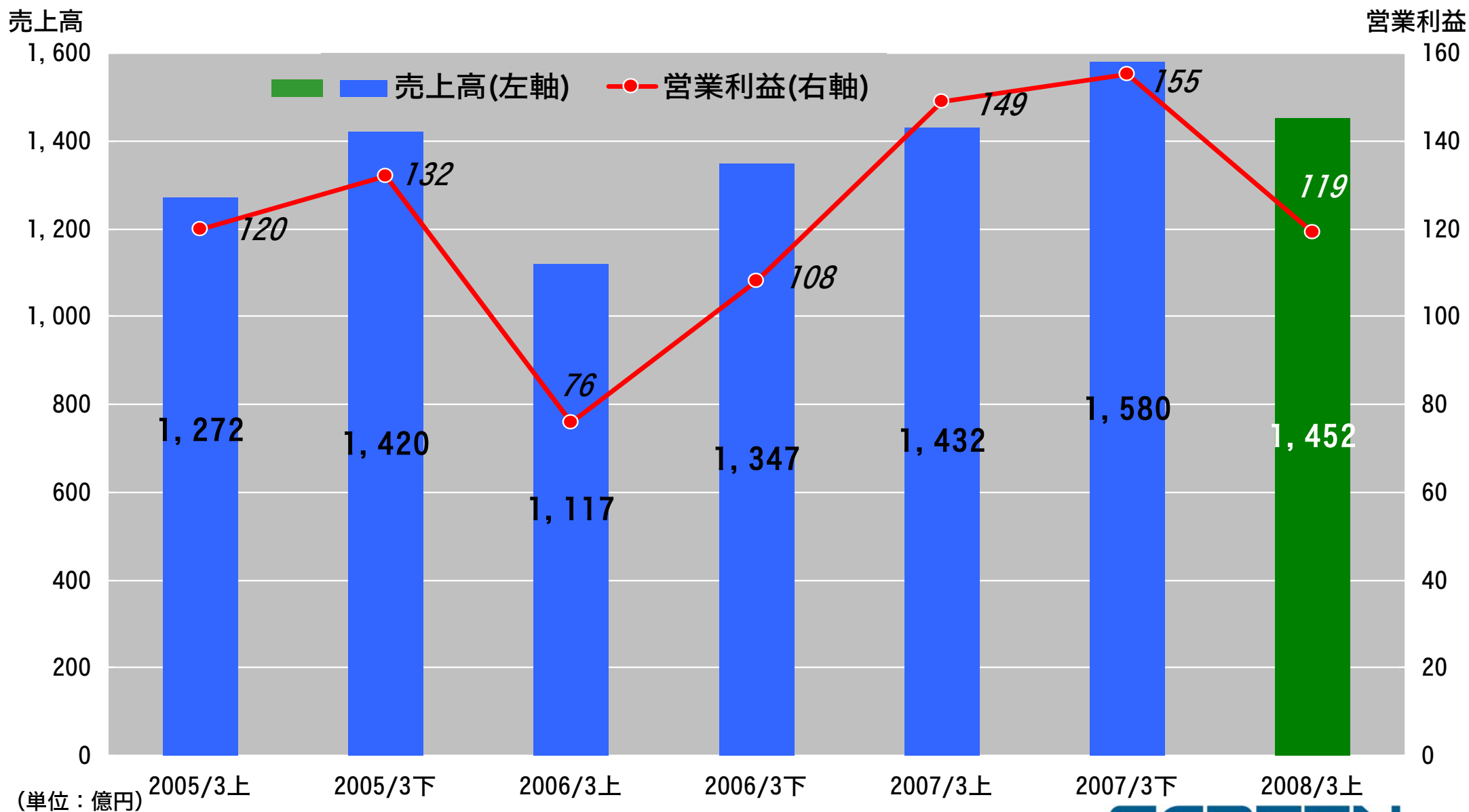
橋本 正博

2008年3月期中間決算について

中間期連結業績の概要(前年同期比)

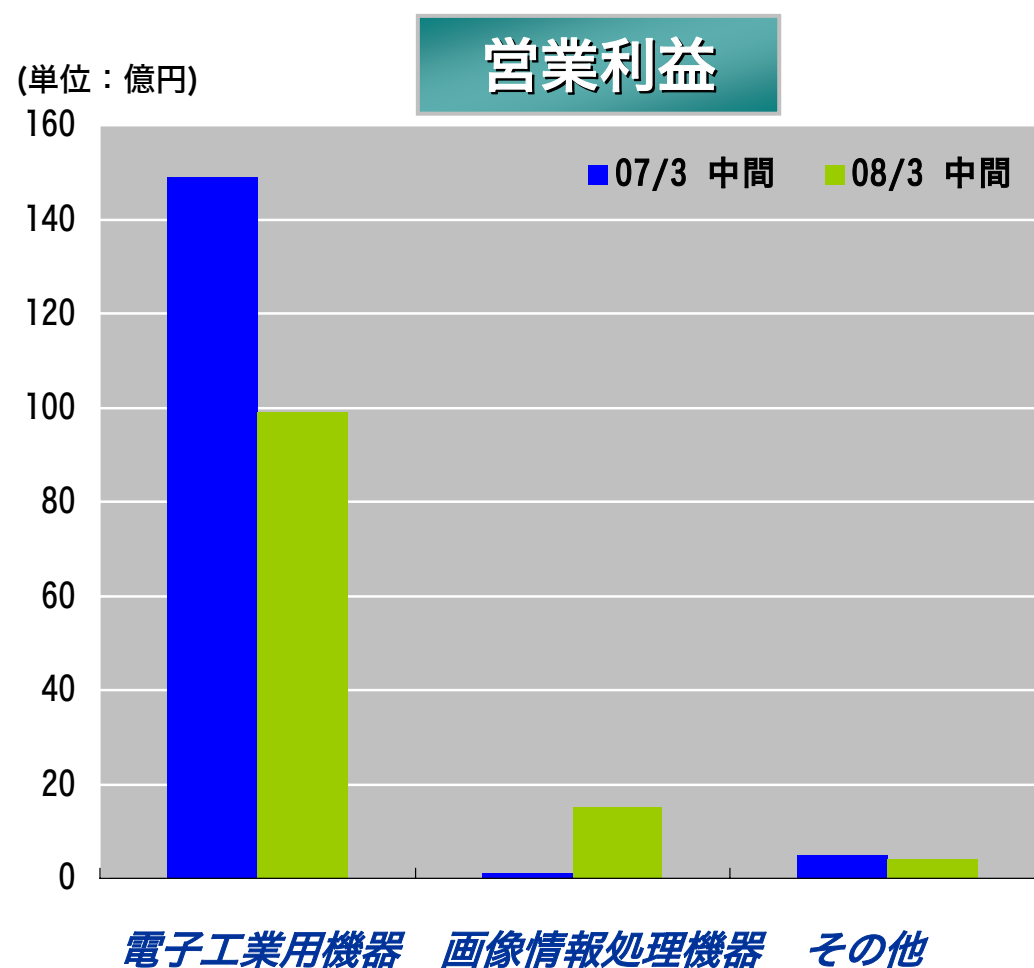
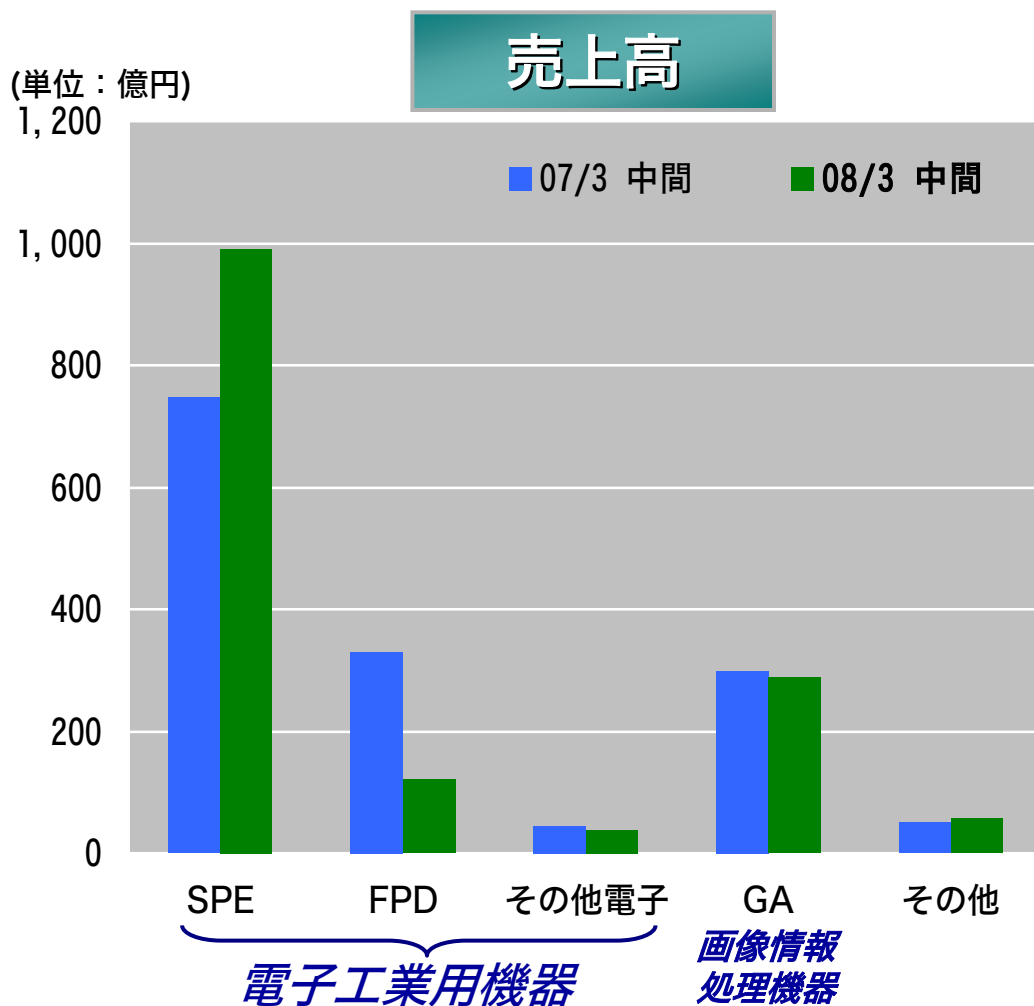
(単位：億円)	2008/3中間	期初計画	2007/3中間	前年同期比 増減率
売上高	1,452	1,430	1,432	+1.4%
営業利益	119	90	149	△ 20.1%
営業利益率	8.2%	6.3%	10.5%	-
経常利益	92	65	141	△ 34.6%
中間純利益	54	41	90	△ 39.3%

連結売上高・営業利益の半期推移



連結事業別セグメントの状況（前年同期比）

- ・ 売上 ⇒ SPEが大幅に増加、FPDは減少、GA・その他電子はほぼ同じ
- ・ 営業利益 ⇒ 電子工業用機器が大幅に減少、GAは増加



当中間期連結業績分析

(単位：億円)

対Q1発表時計画 実績状況	売上高	上期計画 1,430億円 実績 1,452億円 (計画比101.6%) SPE : 990億円 (計画比104.2%) FPD : 120億円 (計画比 96.2%) その他電子 : 39億円 (計画比 87.3%) GA : 288億円 (計画比 96.3%)
	営業利益	上期計画 90億円 実績 119億円 (計画比133.1%) 電子工業用機器 99億円 画像情報処理機器 15億円 その他 4億円
前年同期比 FY08/1H vs. FY07/1H	売上高	19億円 (1,432億円→1,452億円) SPE : 大幅増 (242億円) FPD : 大幅減 (△210億円) GA : 微減 (△9億円)
	営業利益	△30億円 (149億円→119億円) FPDの売上減少に伴い減少 (前年同期比△約80億円) SPEの売上増加に伴い増加 GAは販管費の抑制により増加

連結貸借対照表

(単位：億円)	2008/3中間	2007/3期末	前期末比 増減率
(資産合計)	3,137	3,195	△ 1.8%
流動資産	2,156	2,234	△ 3.5%
現金及び預金	301	344	△ 12.4%
受取手形・売掛金	949	977	△ 2.9%
棚卸資産	790	774	2.2%
固定資産	981	960	2.2%
(負債合計)	1,780	1,857	△ 4.1%
流動負債	1,290	1,337	△ 3.5%
支払手形・買掛金	721	833	△ 13.4%
固定負債	490	519	△ 5.7%
(純資産合計)	1,356	1,337	1.4%
資本金	540	540	0.0%
資本剰余金	301	301	0.0%
利益剰余金	503	484	3.7%
自己株式	△ 7	△ 7	-

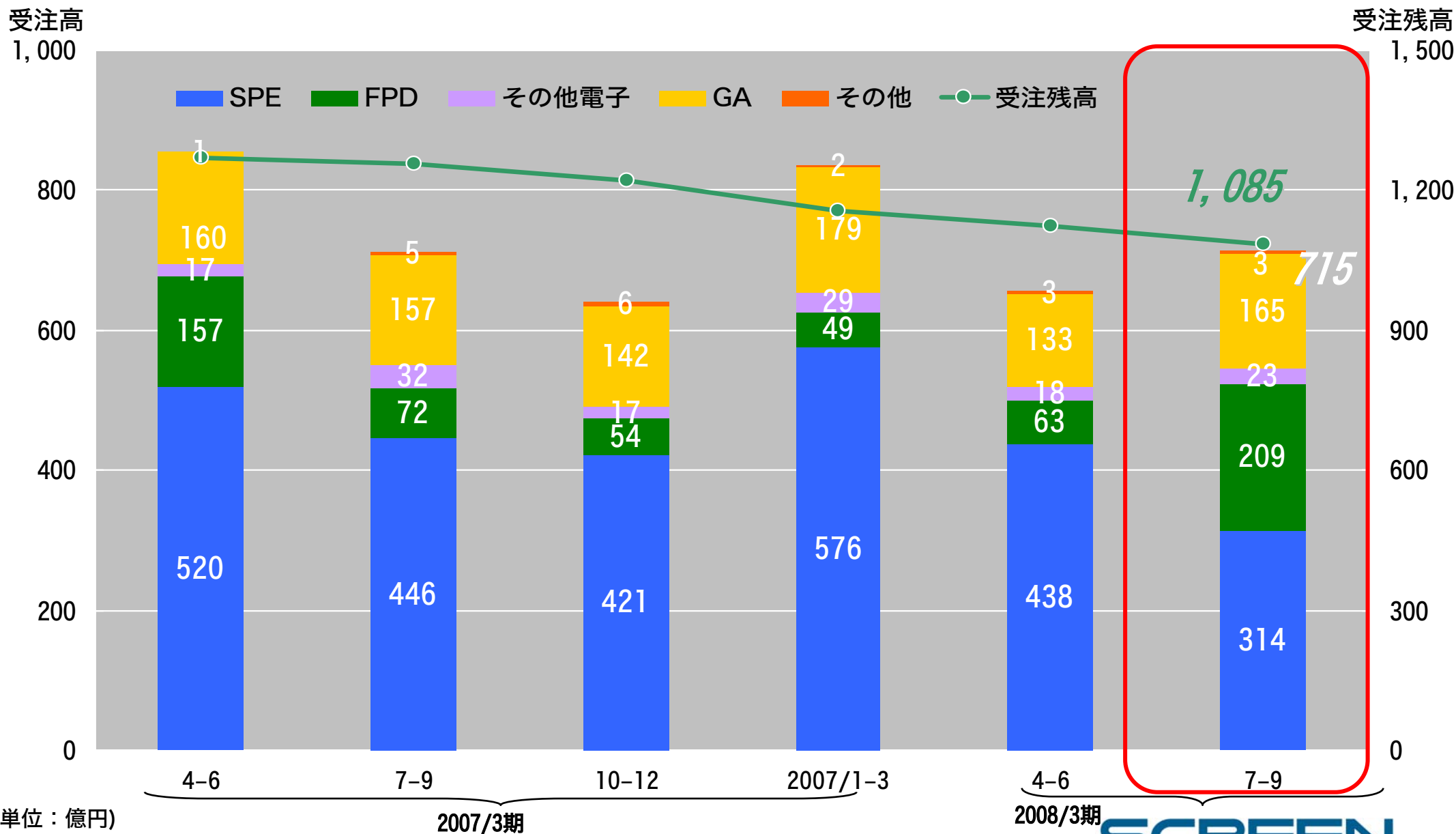
主な増減要因

法人税や配当金の支払
および有形固定資産の取得
による支出

支払手形や買掛金が
仕入れ高を上回ったため

中間純利益の計上により増加

受注高・受注残高 四半期推移 (連結)



SPEは半導体製造装置、FPDはFPD製造装置、その他電子はプリント配線板製造装置およびブラウン管用マスクなど、GAは画像情報処理機器をそれぞれ示す。棒グラフの白文字は、四半期受注高合計を示す。

2008年3月期業績予想について

2008年3月期連結業績予想

(単位：億円)	上期	下期		通期		
	実績 (11/12)	前回予想 (8/9)	今回予想 (11/12)	前回予想 (8/9)	今回予想 (11/12)	増減
売上高	1,452	1,450	1,347	2,880	2,800	△80
SPE	990	850	759	1,800	1,750	△50
FPD	120	225	199	350	320	△30
その他電子	39	55	60	100	100	+0
GA	288	310	311	610	600	△10
その他	14	10	15	20	30	+10
営業利益	119	130	60	220	180	△40
経常利益	92	120	37	185	130	△55
当期純利益	54	69	15	110	70	△40
1株当たり配当金(円)				10	10	

■ 営業利益率の向上

- コストダウン（ものづくり強化）
- 技術力を駆使した差別化商品の市場投入
- 在庫の圧縮

■ 新規事業

- コア技術を生かした事業領域の拡大
- 新規事業の創出

各セグメント課題と取組

電子工業用機器

- ▶ 半導体製造装置事業
営業利益率の改善 → 枚葉式洗浄装置の利益率向上
- ▶ FPD製造装置事業
TFTアレイ装置以外への展開 → ノズルプリンティング技術の応用展開
- ▶ その他電子機器事業
海外売上の拡大 → アジア戦略の構築

画像情報処理機器事業

- ▶ インクジェット装置事業の拡大 → 各POD市場へのアプリケーション拡大

今後の事業予想

- 半導体製造装置事業は3Qは調整局面続くも、4Qから徐々に回復、来期も堅調に推移
- FPD製造装置事業は来期に向けて受注残増加、来期は回復基調
- 画像情報処理機器事業はPOD機器の売上増加に期待

2008年3月期中間決算説明会
半導体製造装置事業について

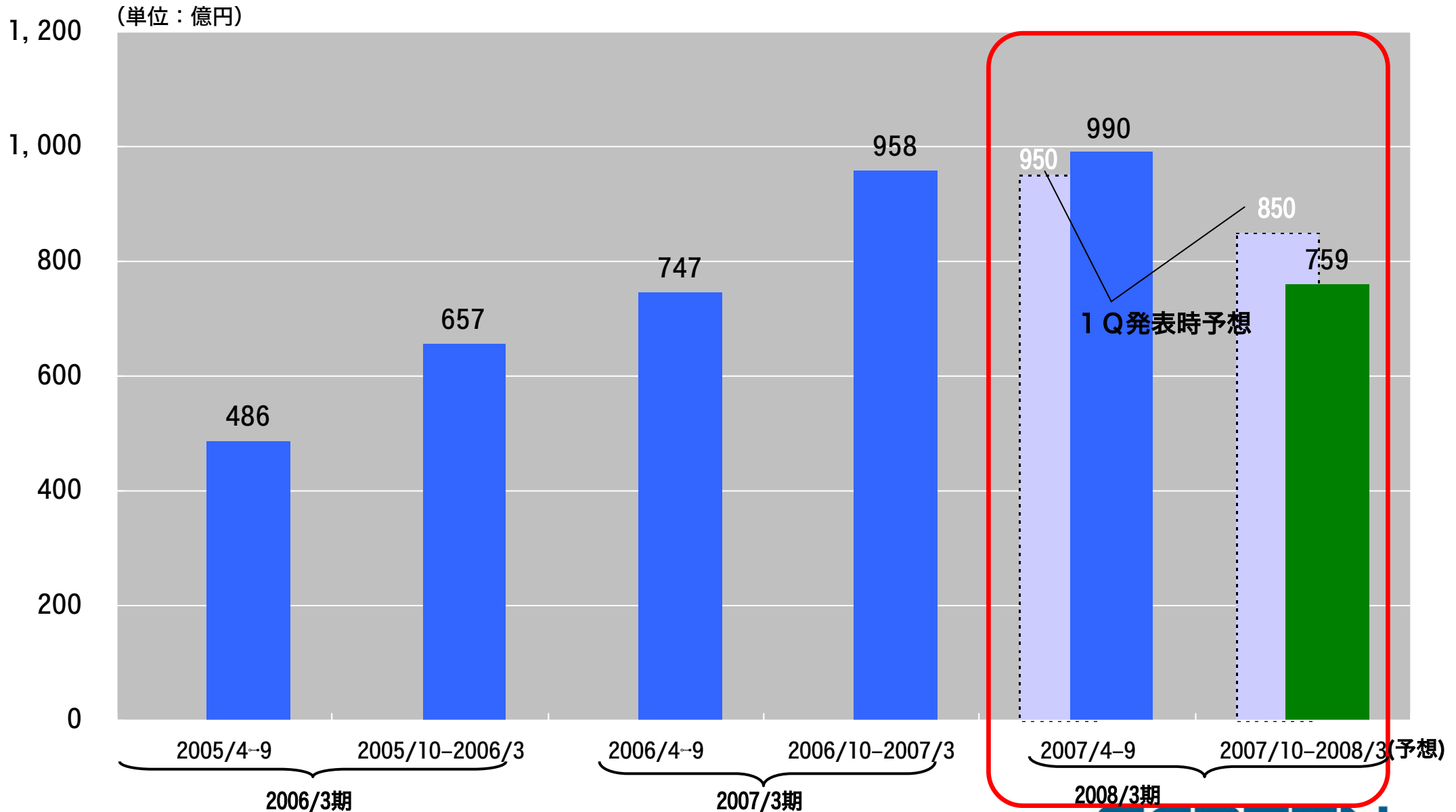
2007年11月13日

常務執行役員
半導体機器カンパニー社長

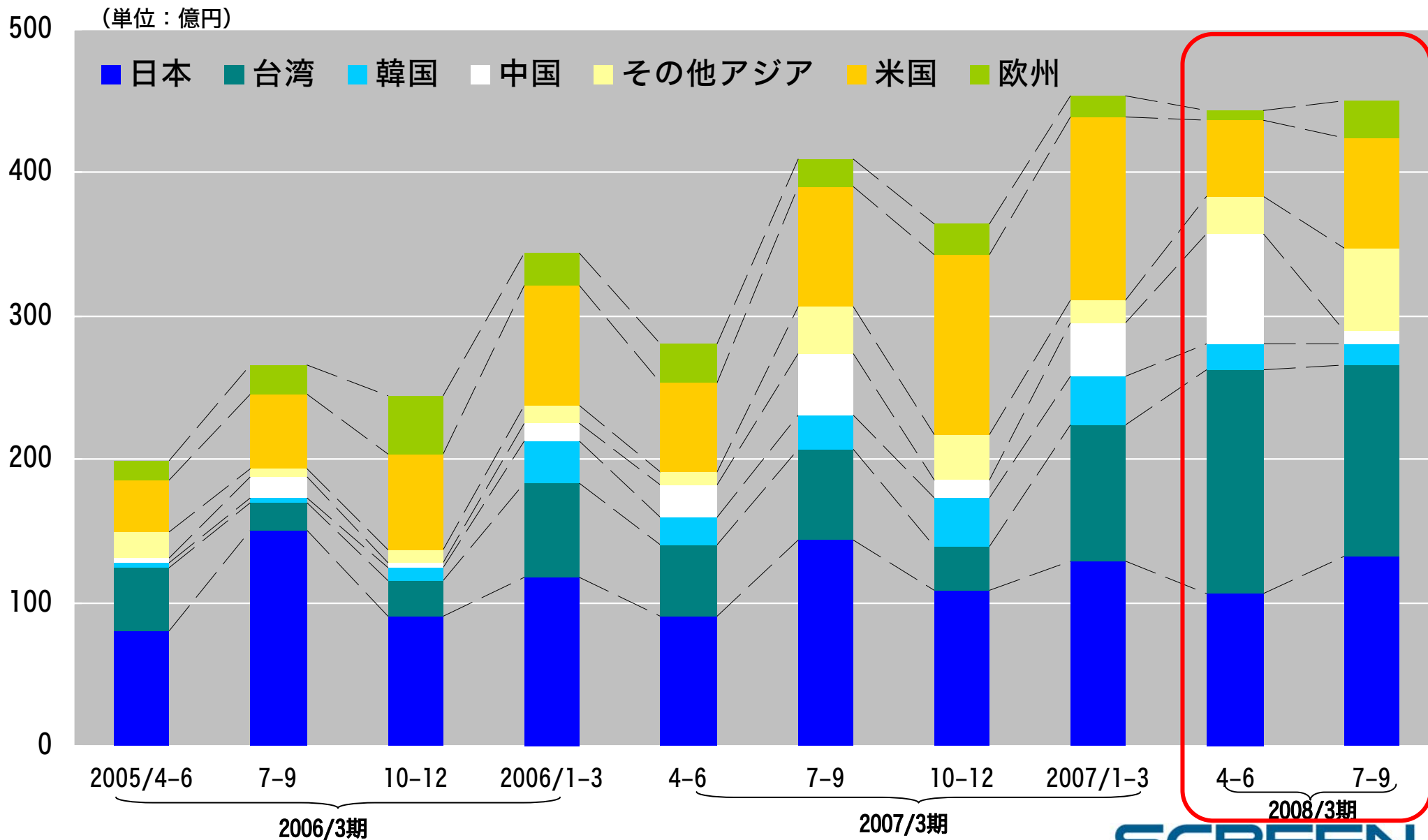
垣内 永次

2008年3月期中間期業績について

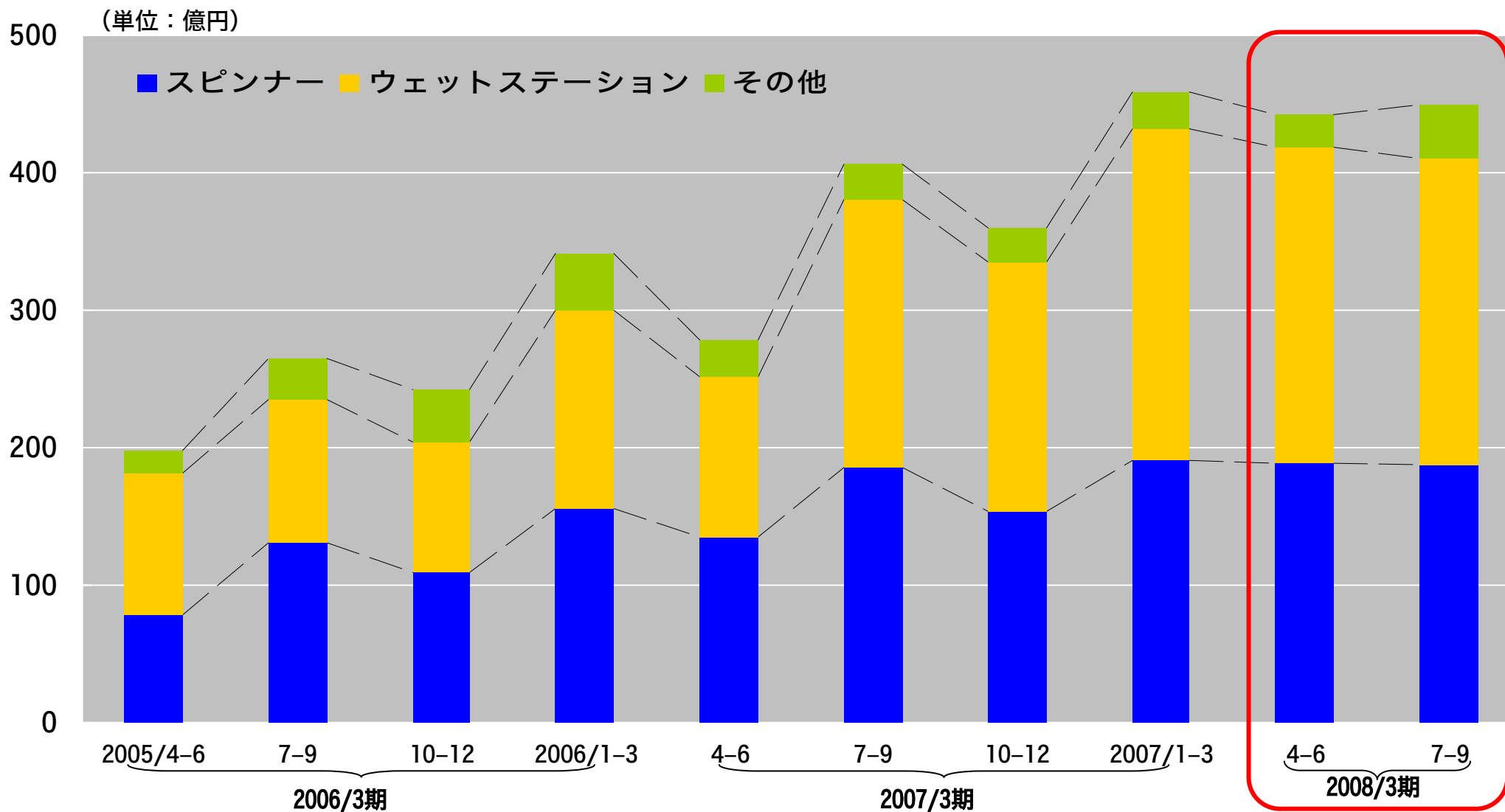
半導体製造装置 半期売上高推移（連結）



半導体製造装置 地域別売上高四半期推移 (単独)

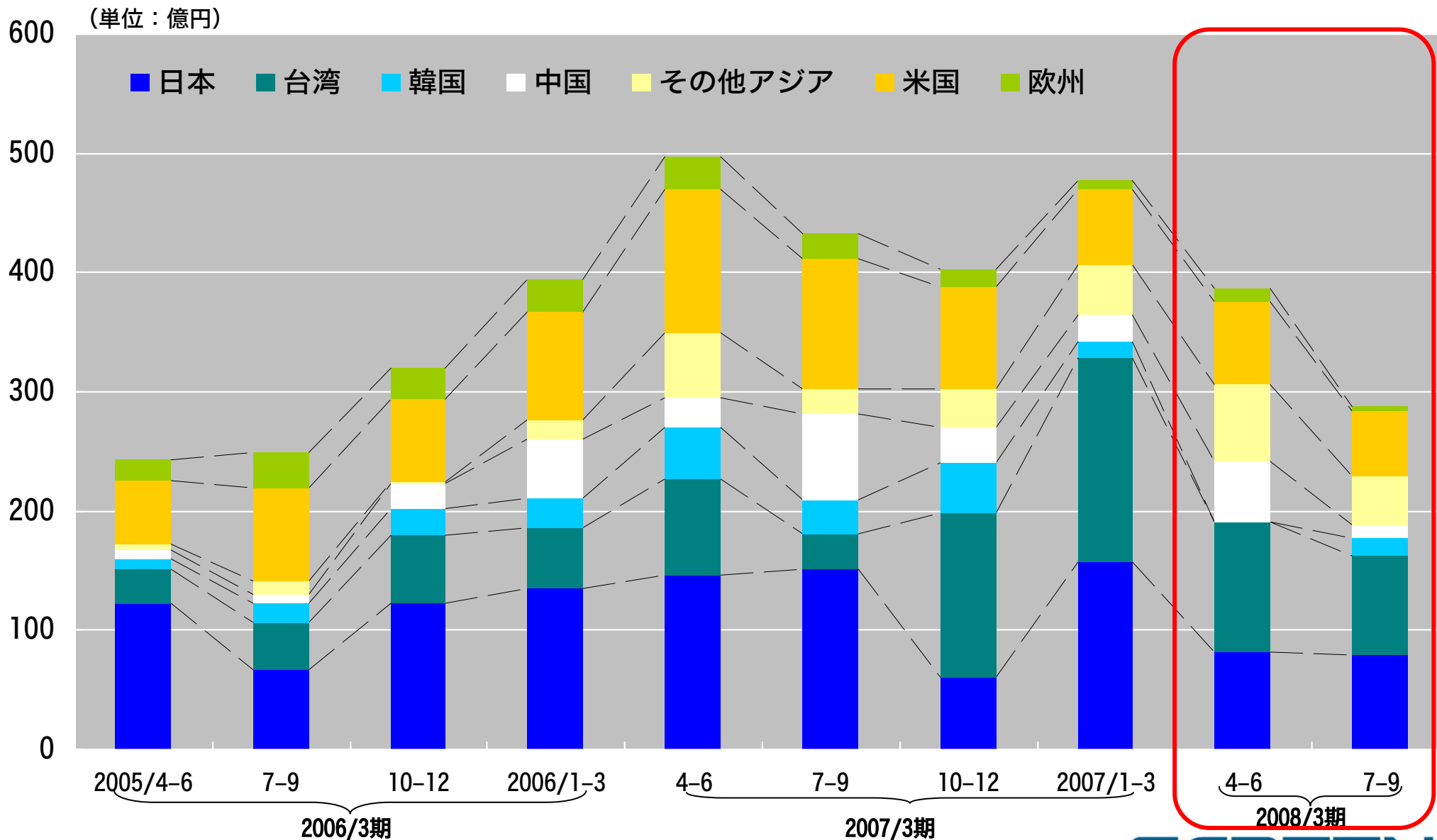


半導体製造装置 製品別売上高四半期推移 (単独)

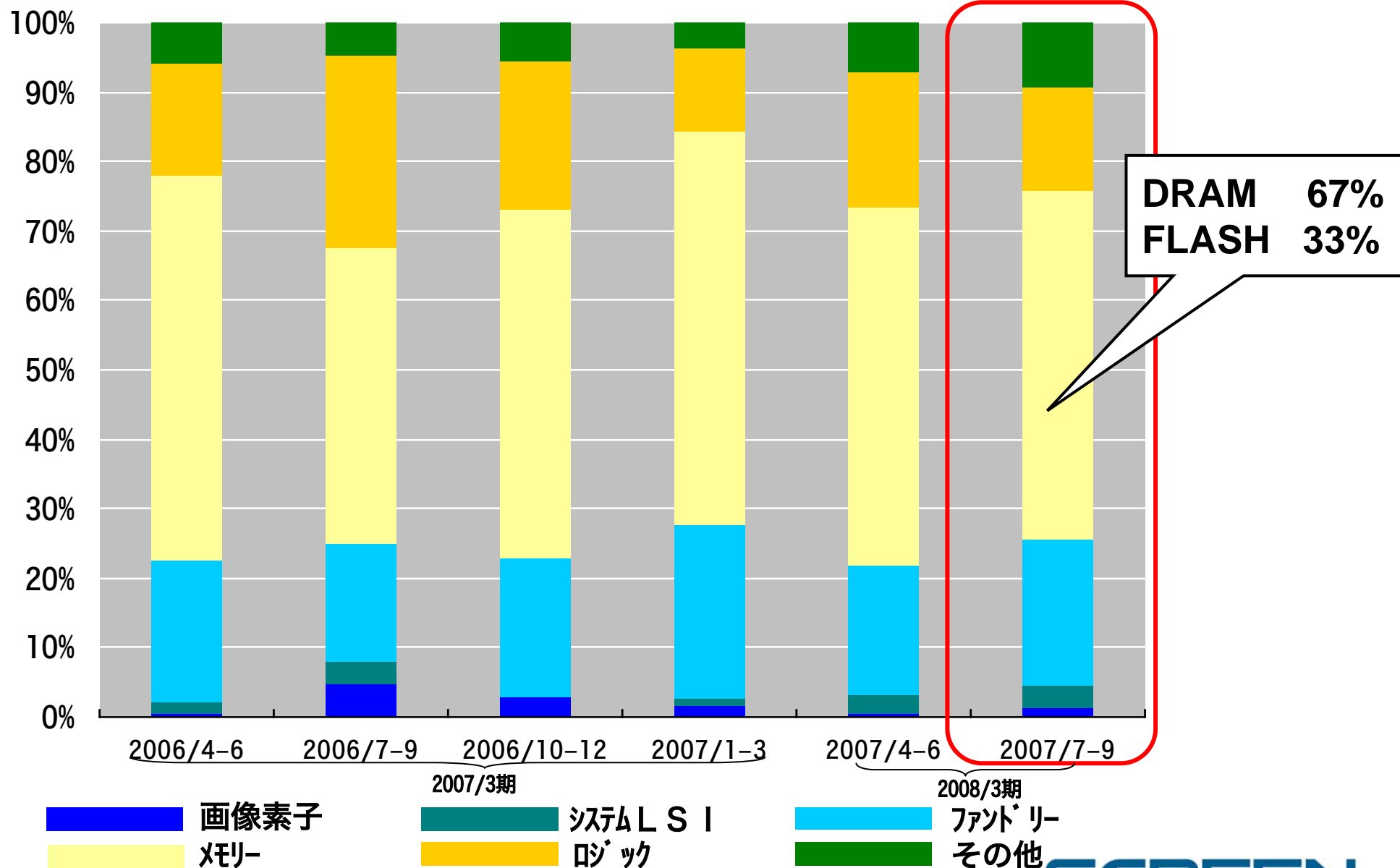


スピナーとはコータ・デベロッパと枚葉式洗浄装置を、ウェットステーションとはバッチ式洗浄装置を、その他とはスピナー、ウェットステーション以外の装置および荷造、運賃、作業費をそれぞれ示す。

半導体製造装置 地域別四半期受注高推移 (単独)



半導体製造装置 デバイス分類別四半期受注比率推移 (単独)



今後の取り組みについて

今後の見通し

デバイス別投資予想

DRAM	価格低迷の長期化により、投資は二極化傾向
NAND	投資計画はあるが、微調整の可能性も想定
ロジック	顧客により異なるが相対的に堅調
ファブリー	最大手2社が来期の投資を削減する傾向



当社の来期（2009年3月期）売上予想

上期 ⇒ 弱含み 下期 ⇒ 若干の上積み
通期 ⇒ 今期（2008年3月期）並みと予想

利益向上への取り組み

- 収益構造改革プロジェクトの推進
バリューチェーン全体にわたり、11エリアで展開中
 - ・ 枚葉式洗浄装置のコストダウン
 - ・ サービス事業の収益性向上
 - ・ 開発組織再編による開発の効率化、迅速化
- 製造リードタイム短縮
 - ・ 設計、調達、組立、検収の短縮

製品技術力の強化

- 32nmに対応した新乾燥ツール(バッチ)、新乾燥技術（枚葉）の開発
- 処理能力向上を目指した新搬送システムの開発推進(バッチ)
- 新製品SS-3100の投入

2008年3月期中間決算説明会
F P D製造装置事業について

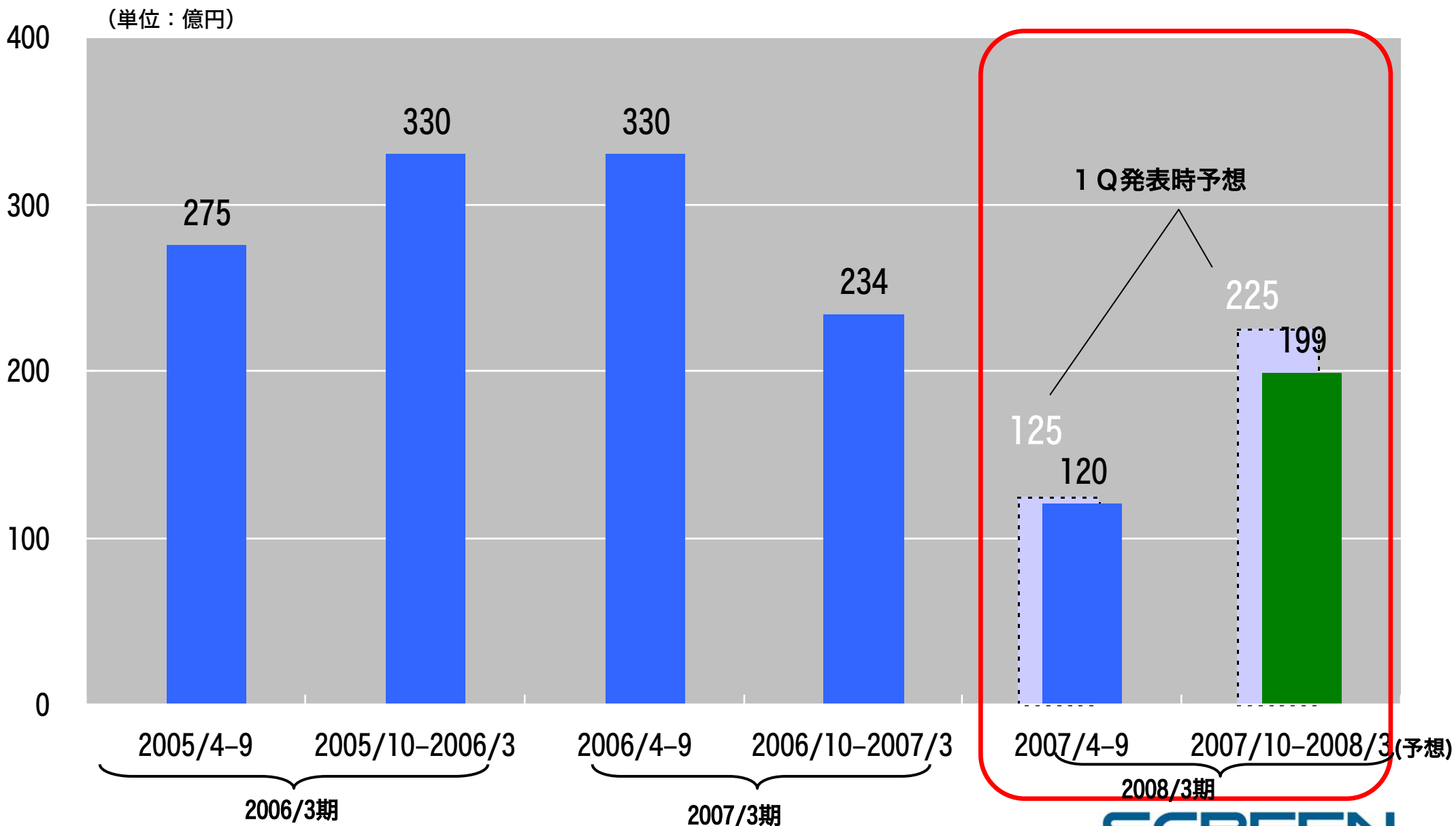
2007年11月13日

専務執行役員
F P D機器カンパニー社長

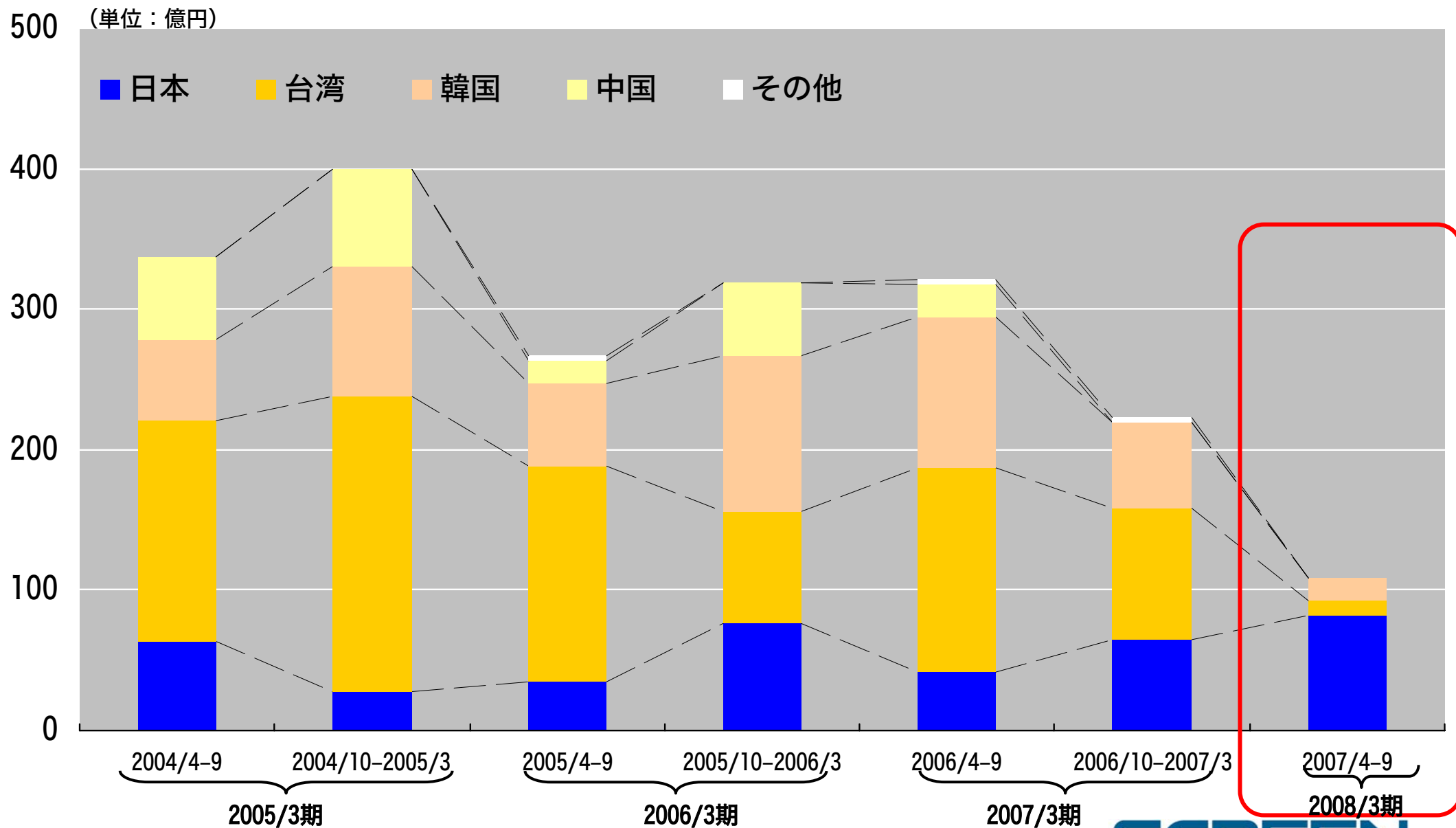
矢追 善也

2008年3月期中間期業績について

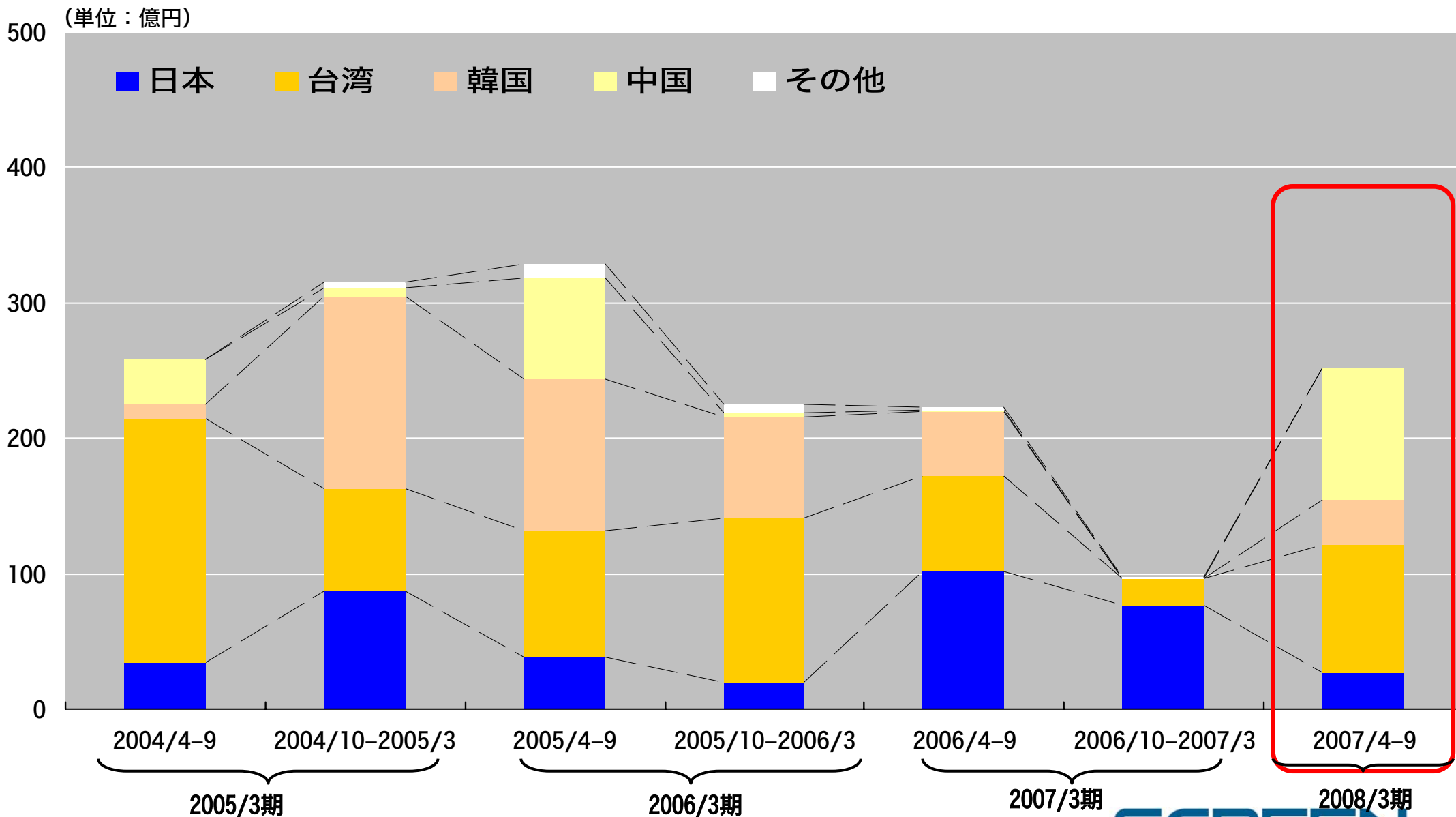
FPD製造装置 半期売上高推移 (連結)



FPD製造装置 地域別半期売上高推移 (単独)



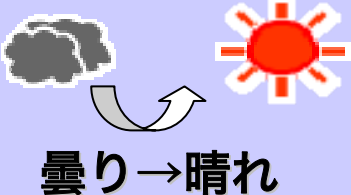
FPD製造装置 地域別半期受注高推移 (単独)





今後の取り組みについて

液晶ディスプレイ製造装置を取り巻く市場環境は回復基調

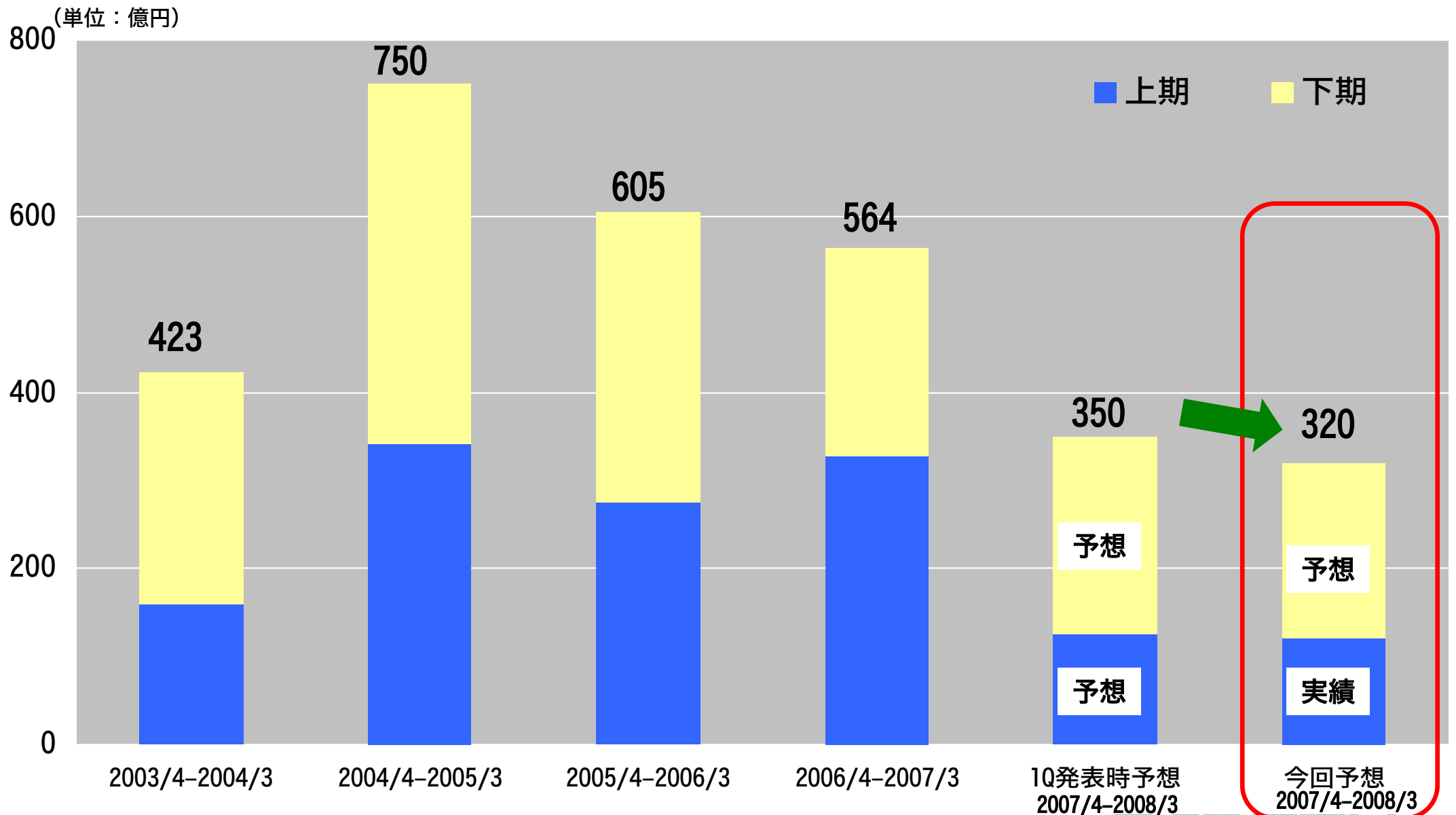
2007年春： パネルメーカーの在庫は減少するも、依然市況は低調。投資案件の動き鈍い。

2007年夏： パネルメーカーのCYQ2業績が回復。フル稼働状況に。増設商談は活性化。

2007年秋： 台湾での増設投資に引き続き、韓国が増設投資、中国の大型投資などにより受注好調。

2007年冬：
(予想) 大型装置の新規・増設商談および新興市場での投資商談などV字回復に期待。

FPD製造装置 売上高推移（連結）



今後の重点施策

販売戦略

- 来期のV字回復に向け受注を最大限確保
- 新規製品群の積極的市場開拓・拡大

製品戦略

- 超大型ガラス基板対応装置の開発
- CF用新規製造装置の商品化と円滑なリリース
- 塗布装置をコアとする有機EL用量産システム構築
- 生産性向上に向けた付加価値機能の積極的展開

来期のV字回復に向け受注を最大限確保

- 来期に売上が期待できる投資に関して、営業力を駆使し、全ての商談で受注すべく活動
- 性能・価格競争力のある新概念装置の市場投入
- サービス事業の強化と拡大

新規製品群の積極的市場開拓・拡大

- パネルメーカー・材料メーカーとの連携強化
- 評価実験設備の整備および体制の充実

製品戦略

超大型ガラス基板対応装置の開発

- G10は来年納入に向けて、年内に基本設計終了

CF用製造装置の円滑なリリース、売上寄与

- 客先にてCF直描装置の評価進行中

塗布装置をコアとする有機EL用量産システム構築

- 連続吐出塗布（ノズルプリンティング）方式の採用
- 塗布装置の前後周辺装置を組込んだ製造ラインの構築

生産性向上に向けた付加価値機能の積極的展開

- ムラ検査装置のインライン化による生産性向上への寄与



2008年3月期中間決算説明会
画像情報処理機器事業について

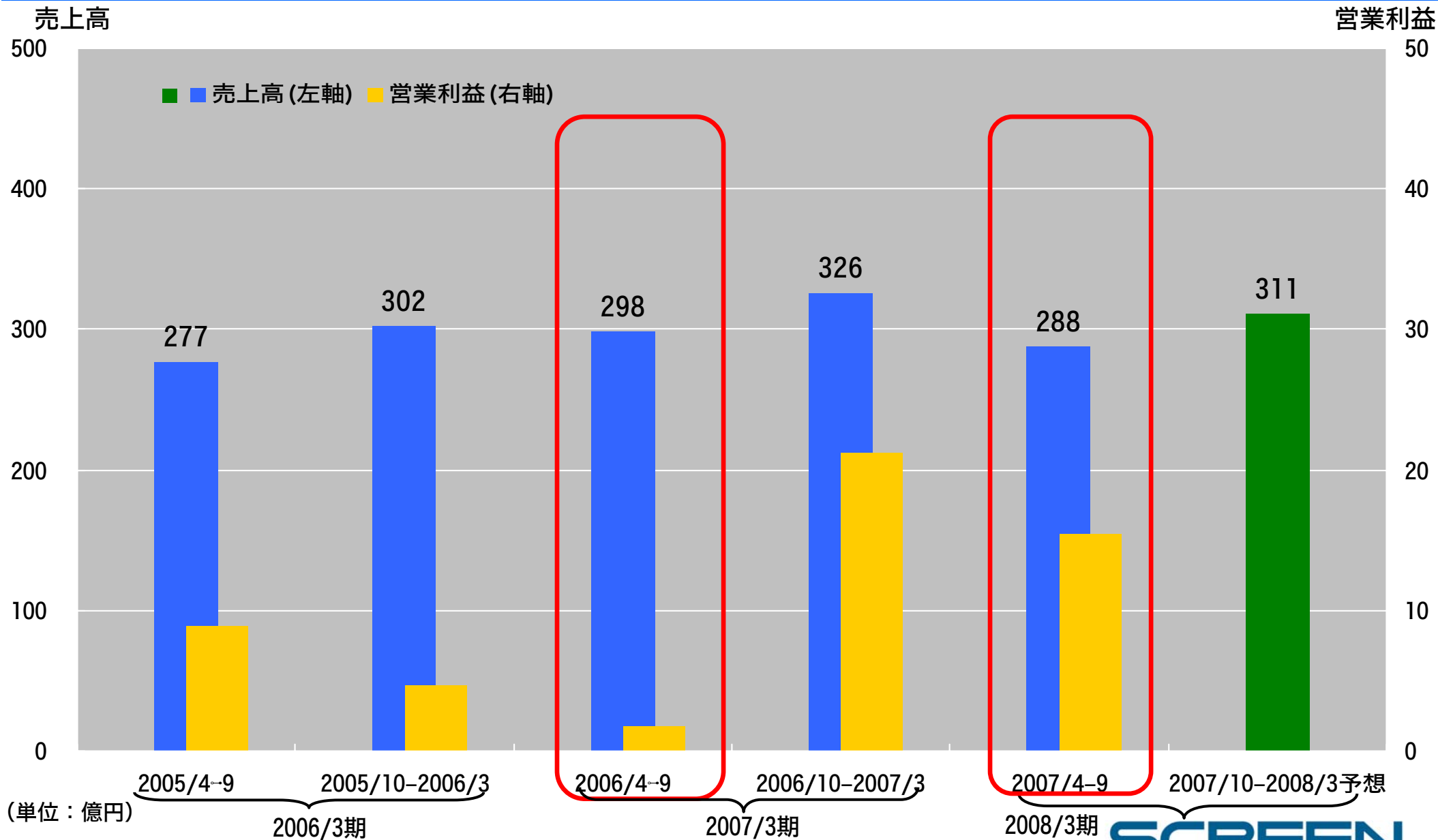
2007年11月13日

上席執行役員
メディアテクノロジーカンパニー社長

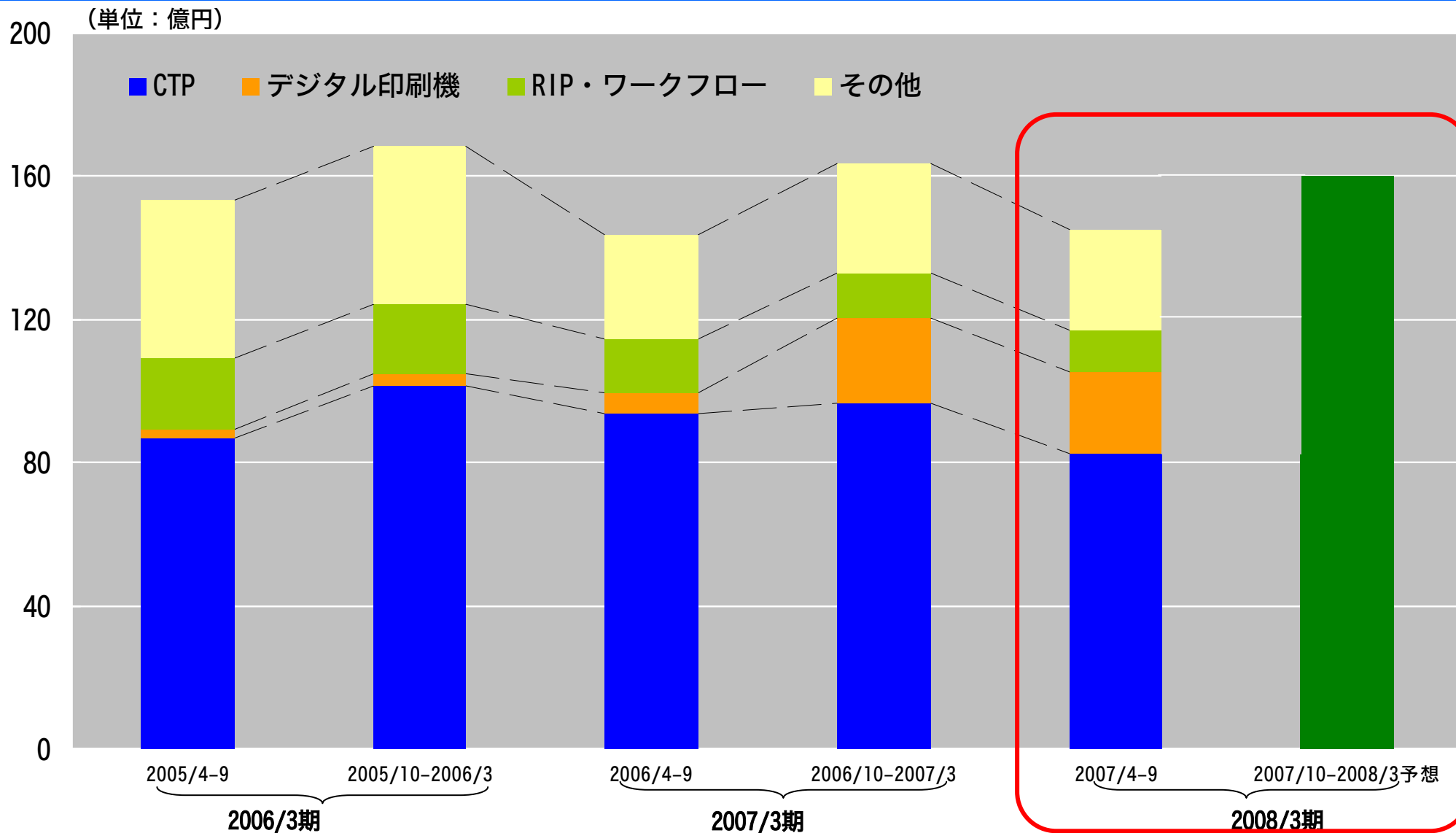
藤澤 恭平

2008年3月期中間期業績について

半期売上高・営業利益推移 (連結)

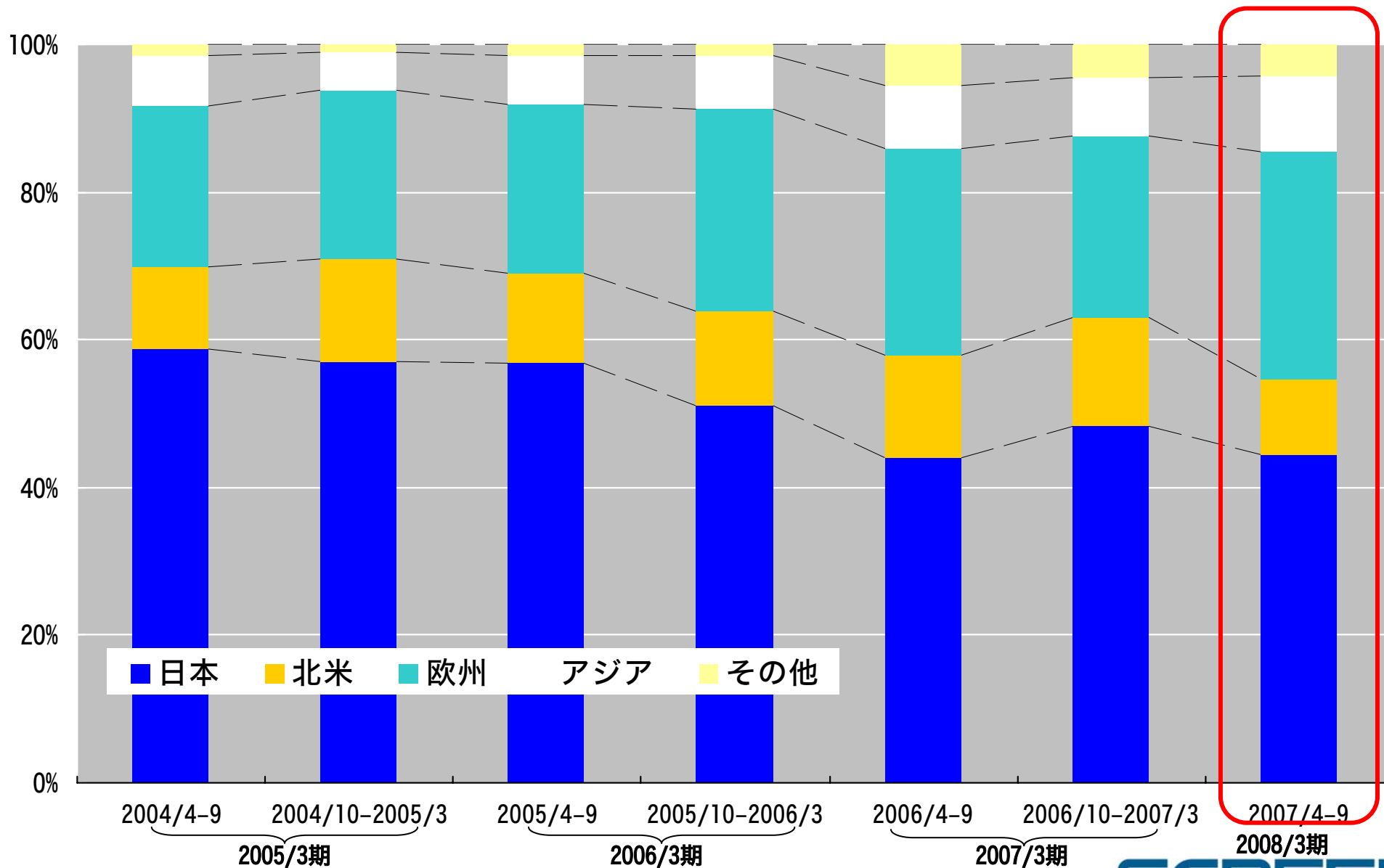


画像情報処理機器 製品別売上高半期推移 (単独)



その他とは入力スキャナー、イメージセッター、デジタル校正機、一般製版機器、フォント、消耗品、仕入商品および荷造、運賃、作業費を示す。

地域別売上高比率半期推移 (単独)



今後の取り組みについて

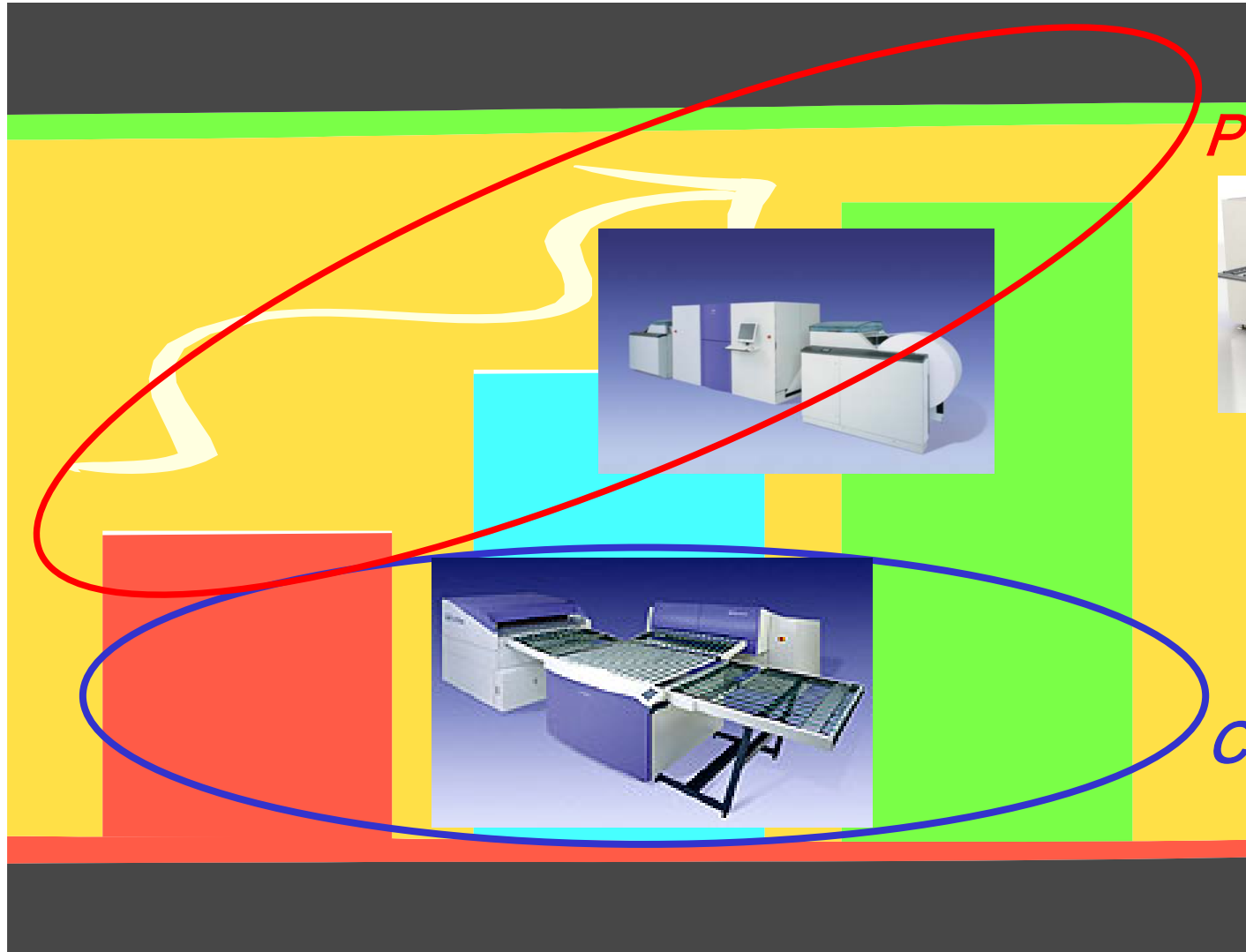
新たな成長に向けて

●CTP世界No1の地位を堅持しつつ新市場に進出

●インクジェット技術を応用展開しPOD市場で事業拡大



新たな成長に向けて



POD事業を拡大



CTP No.1を堅持

CTP世界No.1の地位を堅持しつつ新市場に進出



「PlateRite Niagara」
低価格CTP

商業印刷市場

ハイエンド市場向け
新興市場向け



「PlateRite 8800ZX」
世界最高速50pph

新聞印刷市場



「PlateRite News2000S+」

ラベル・パッケージ印刷市場



「PlateRite FX870」

POD事業の拡大

紙メディア印刷



- オンデマンド印刷
- トランザクション業務
- カラーバリエーション印刷など

サインディスプレイ



- 屋外広告・看板
- 展示会パネルなど

インクジェット技術

産業用部材印刷



- 装飾材・産業部品など

パッケージ印刷



- ダンボール印刷
- 梱包材

FASTJET (™SunChemical Inca社で開発・製造)

トランスプロモ

〒 889-4486
宮崎県小森市浜木綿 3-13-18

山本 啓子 様

|||||

いつもご利用ありがとうございます。
今月のご利用明細をご送付いたしましたのでご確認ください。
2007年 9月 10日

DS Card 株式会社ディエスカード
〒602-8585 京都市上京区堀田通中ノ内上5丁目12-345
http://www.sxxxxx.co.jp/card/
お客様電話番号 03-xxxx-xxxxxx

カードのご利用状況、請求金額、利用可能なポイント額などは下記にてお受けします。
①ご利用サービス(24時間) 0000-0000-00000
②インターネットサイト http://www.*.*.*.*.*.co.jp
※インターネットサイトご利用には、別途会員登録が必須です。

Truepress jet520印刷サンプル

Truepress jet520が生み出す高品質フルカラーバリエーション印刷と情報管理機能は、高い付加価値を生み出す新たなサービスとして、ビジネスの領域を拡げます。

フルカラーバリエーション印刷システム
Truepress jet520



ディエスカードご利用代金明細書

お支払い日	2007年 9月 10日	カード名称	TPJカード
今日の ご請求金額	22,506円	カード番号	1234 **** * 5678
ポイント明細		金融機関名	MFJ銀行
前日までの累計	2,500 ポイント	支店名	九段北店
今月の獲得	22 ポイント	支店番号(口座番号)	999999999999999999
今月の支払	0 ポイント	口座名義人	山本 啓子
今月の合計	2,522 ポイント	ご利用限度額	100万円

◎支払い日とは引当分の決済明細書(請求書)となります。お支払い日とは前記より10日前の口座へご入金ください。
◎請求金額はクレジット決済(一部を除く)となります。請求書(領収書)は、システム上の記録の範疇で、カード番号が必ず必要となりますので、お手持のカードでカード番号をご確認ください。

SCREEN
MEDIA TECHNOLOGY

One Source Multi Print

私らしさ、思いのままに
One Source Multi Print

「トランスプロモ」
トランザクション印刷とプロモーション(販促)の造語
明細書に同梱のパンフレットを10人中7人が見ずに廃棄
 (英国ダイレクトメールサービス会社の調査)

これなら捨てられずに
 広告を見てもらえる

← 利用代金明細

← 個人に合わせた広告



新聞サテライト印刷



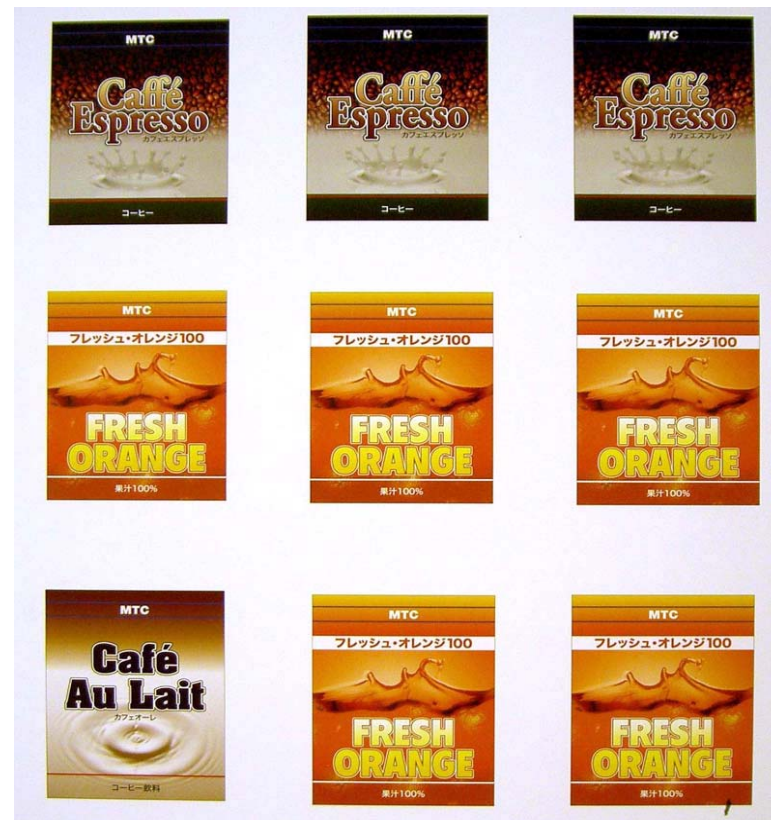
IGAS2007の新聞PODサンプル

街角広告



Liberty store, Regent St, London, April 2001 – First commercial job undertaken on an Inca

さまざまな産業部材への印刷

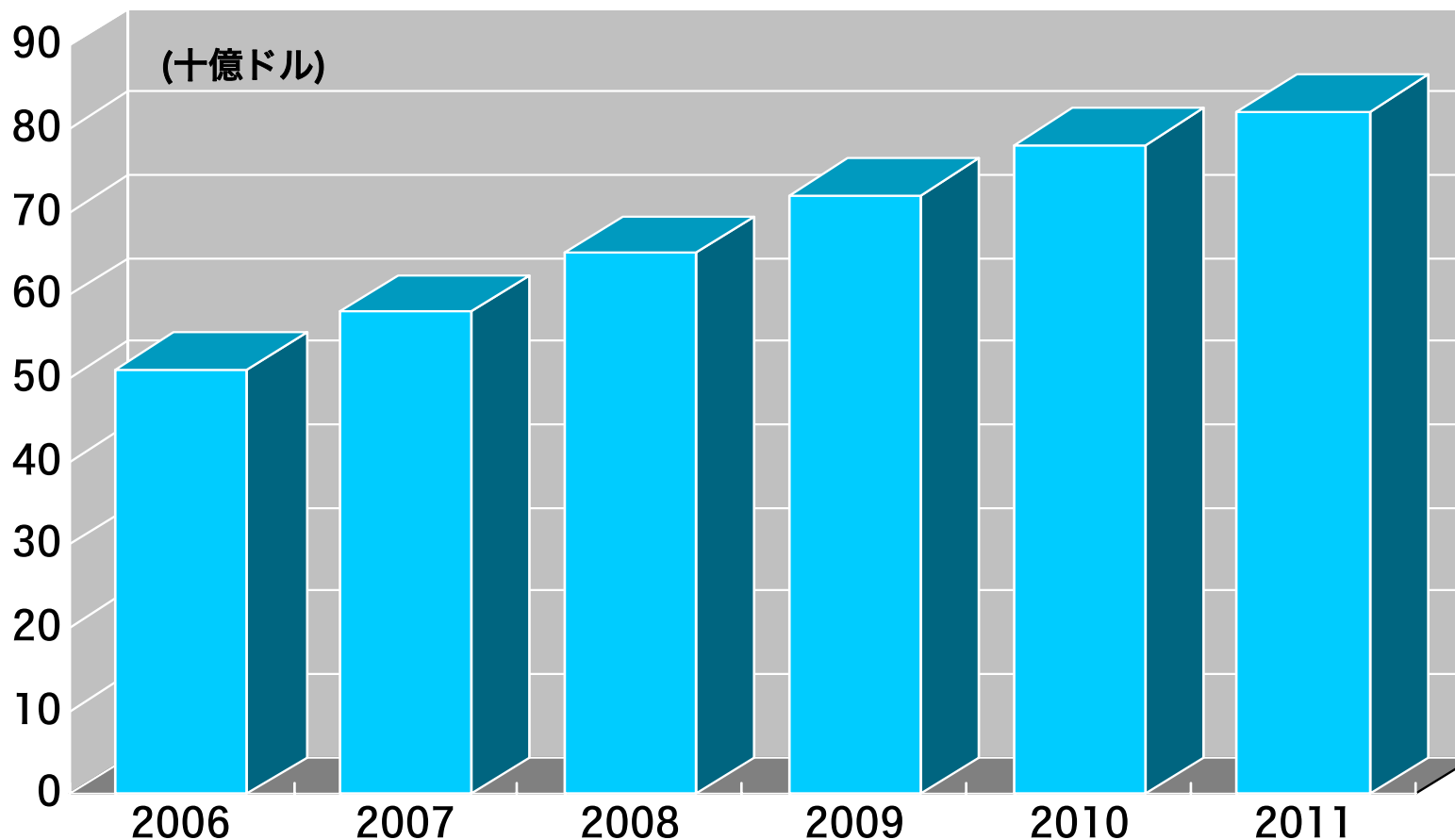


基材を選ばない印刷



PODの市場性

POD 紙メディア印刷の出荷額予測（米国）



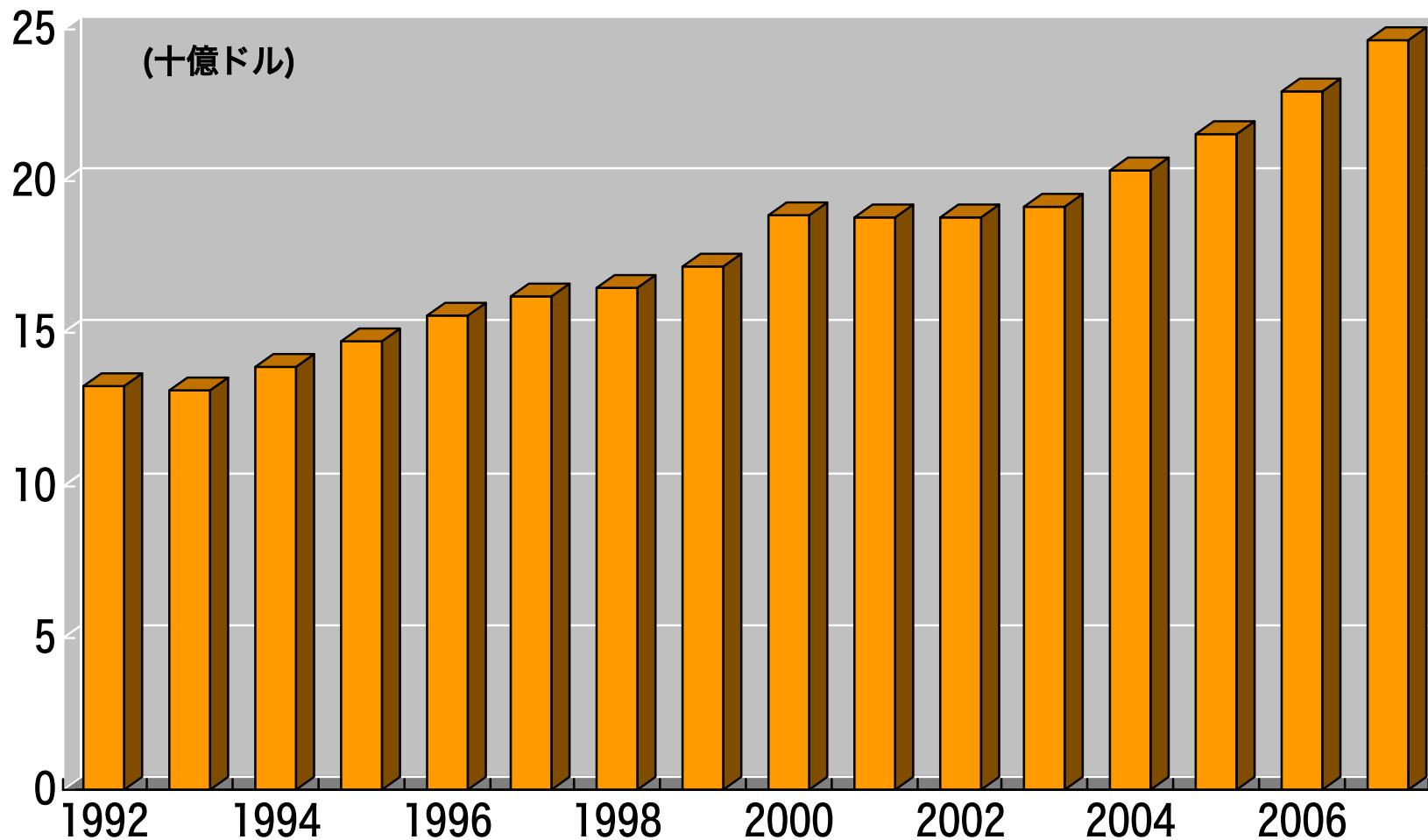
PODによる印刷出荷金額の予測

（高速コピーとデータ処理を含むカラー、モノクロPODの米国市場出荷金額）

出典：InfoTrends 2007

PODの市場性

サインディスプレイ市場（世界）の伸び



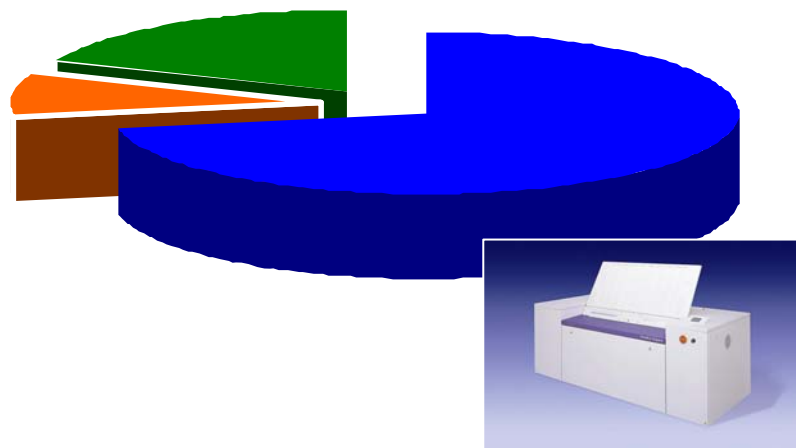
屋外広告費用の推移（世界） 出典：Advertising Expenditure Forecast 2005

PODによる新たな成長

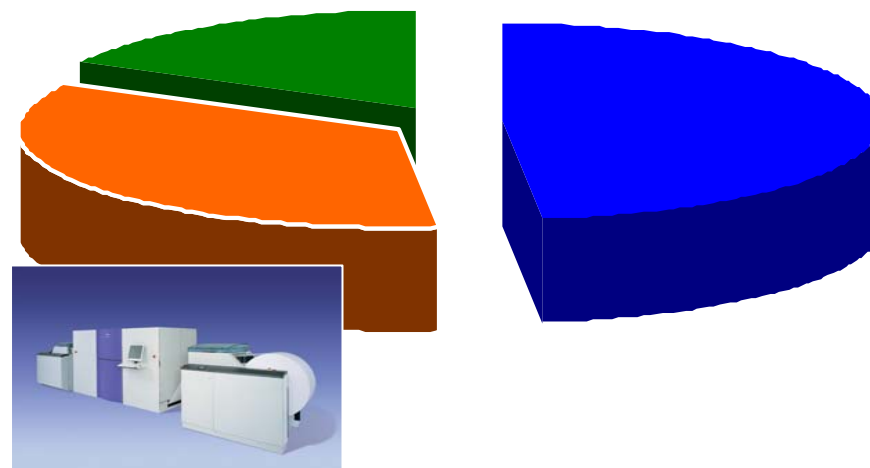
●画像情報処理機器事業の売上目標

■ CTP関連 ■ POD関連 ■ その他

2007年3月



2011年3月



CTP関連の売上維持

PODをCTPにつぐ柱に

SCREEN